



LOT.01

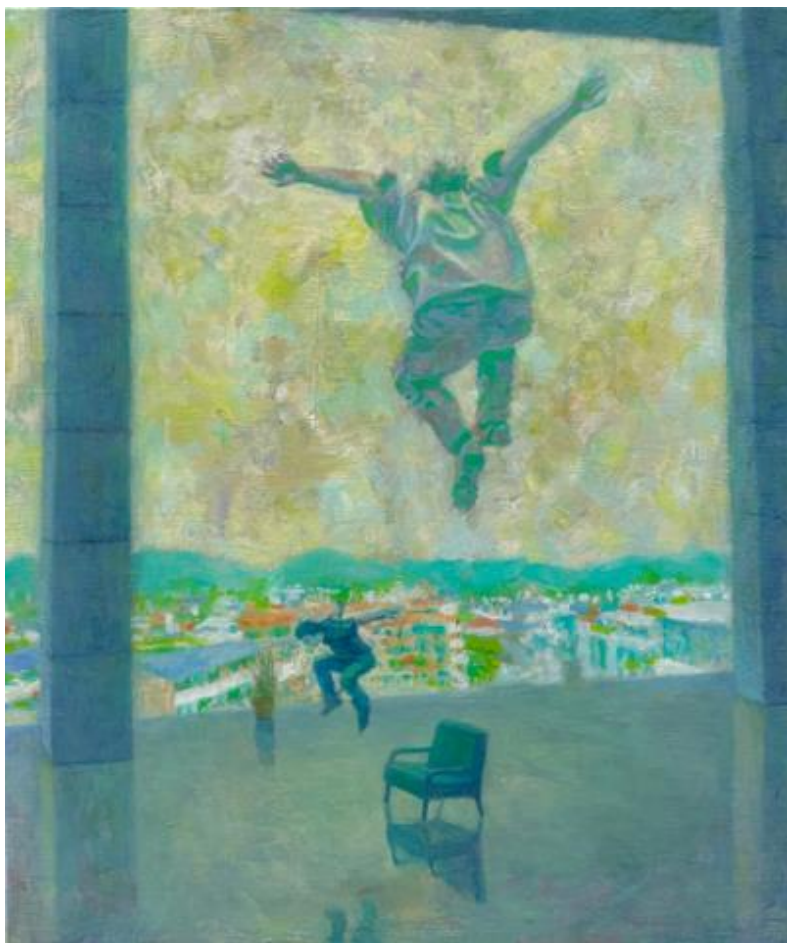
枇杷

前田有加里

京都造形芸術大学芸術学部美術工芸学科日本画コース卒

初夏に揺れるビワの実。色づき始めの実のグラデーションが美しく、子供の頃から大人になった今でもビワの木があると思わず見上げてしまいます。

木製パネルに麻紙、岩絵具、膠、墨(額有)
320×320 mm



LOT.02

溽熱（じょくねつ）

亀田 千晴

京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻

粘性の高い液体がゆっくりとかき混ぜられているような暑い夏。とらわれて動きがスローになる感覚がある。

パネル、キャンバス、油彩(額無)

455×380 mm



LOT.03

MITSU # 3(上図) / kuu # 2(下図)

間々田 佳

武蔵野美術大学大学院彫刻コース修了

「間」というテーマをもとに間の密度を表現した。
「色即是空 空即是色」に着想を得ている。

木製パネル、和紙(額無)

300 × 300 mm





LOT.04

Stamp !!

米村 竜光

多摩美術大学工芸学科陶専攻卒

SNSの『いいね』数が持つ価値基準は、現代人が非物質の仮想情報にいかによりリアリティを感じているかを象徴するシステムである。

私はこの『いいね』を、現代における新しいリアリティを持ったアイコンと捉え、陶という普遍性を持った素材で物質化し、表現する。

陶(手捻りによって制作)
W200×H240×D140 mm



LOT.05

花笑み

宮腰 衛

東京藝術大学大学院 美術研究科絵画専攻
油画技法・材料研究分野 修士課程 修了

静かに奥ゆかしく咲くその花は、「花笑み」という柔らかく温かみのある大和言葉がよく似合う。

パネルに木炭、油彩(額無)
391×402 mm



LOT.06

夜のモンサンミッシェル(ガラス絵)

平野 えり

武蔵野美術大学 油絵学科 絵画コース卒

言葉に表しきれない日々の想いを線に込め、死生観を制作のテーマに描いています。

ガラス絵は客観的な要素を重視し、制作しています。

油彩、親和金箔、銀箔、アルミ箔(額有)

285×285 mm